



「がん哲 in 万座に参加して」

板橋区在住

荒井 英夫

新宿からバスで4時間半、3月とは言えまだ一面銀世界の万座に到着。子供の頃スキーでよく来た志賀高原や野沢温泉を思い出した。今回は「がん哲 in 万座」～樋野先生お誕生会ということで万座温泉に来たが、また機会があればスキーにも再挑戦してみたくなった。そう、次回は1日早く来てスキーをやろう。そんな積極的な気持ちにさせてくれる雪景色だった。

1日目の樋野先生お誕生会では、参加者の自己紹介で、皆さんががんを患いながらもそれぞれの道で生き活きと活動されている様子が分かり、そのお一人お一人が本当に明るく、笑顔が素敵なのに驚かされた。今回参加された方々の殆どががん哲万座温泉の常連で、樋野先生を囲んでいく中でそれぞれの場所や役割を見つけられた方々なのだなあと理解した。

2日目のがんカフェでは、没後50周年の吉田富三の業績が紹介され、没後70周年の河井道については、詳細な資料を読み上げた後、3つのグループに分かれて話し合いの時間を持った。戦時下において、信仰や教育を守ることの難しさが語られる一方、その重要性を訴え毅然として立ち向かった先人の勇気をたたえ合った。

私とは言えば、昨年3月の食道がん手術以来、がんを見つめる毎日が続いていた。こうやって外の世界に顔を出してみると、私よりもっと重いがんを患いながらも、がんと共に生き、がんだからこそできる生き方を見つけた人たちがいることが分かった。あるいは、がんは人生の一部に過ぎない、がんに人生を明け渡していない、もっと大切なことがいっぱいある、そんな生き方をしている人があることにも気づいた。この3月には手術後1年の精密検査が控えている。たとえどのような結果であれしっかりと受け止めて行こうと思う。今回のがん哲に参加された方々の笑顔を思い浮かべ、その勇気にあやかりたいと思う。皆様、ありがとうございました。

「諸先人の記念年を祝う」

万座温泉 in 日進館 3/4~5



佐久ひとときカフェだより No.137 NPO「健康工房 SAKU」 2023.04.01(土) 14:00~16:00

◇ 本日の佐久ひとときカフェ 第137回



- ・日時：2023年4月1日(土)午後2時~4時
- ・会場：「うすだ健康館」
- ・テーマ：「加齢にともなう眼の変化について」
- ・話題提供者：清水しげ子さん(眼科検査師)



◆ 前回(第136回 3/4 うすだ健康館にて)のカフェについて 井出美由紀

- ・3月4日(土)第136回「佐久ひとときカフェ」を開催しました。今回のテーマは「がん哲学外来へようこそ～佐久ひとときカフェの原点を振り返る～」でした。
- ・市民が開くカフェとして始まってから何と12年！ 樋野先生との出会い、立ち上げの思い、市民学会のこと、ひととき文庫の話……初期から参加していた私もとても新鮮な気持ちでみなさんのお話をきかせていただきました。
- ・肩書きも持たず、人と人が同じテーブルを囲んで話をする。話すことで心がほぐれ、居心地の良い居場所であることはずっと変わることのないカフェです。
- ・そして今回！ このタイミングで『小海教会カフェ』のみなさまにもご参加いただき、つながれたことで励まされ、幸せを感じました。
- ・地域のつながりを大切に歩み続けていきます。これからもよろしくお願いします。



☆ ご紹介～安藤潔先生からの寄贈本～

- ・がん哲学外来市民学会の副代表である安藤潔先生から素晴らしい書籍が送られてきました。
- ・かつて私たちのカフェで「ソーシャル・キャピタルとは何か」をテーマに学びあったことがありました。皆さん。これを機に学び直し、実践につなげてみてください。



- ・日時：5月6日(土)午後2時~4時
- ・会場：うすだ健康館
- ・テーマ：「若月俊一先生の思い出」
- ・話題提供者：鷹野昭子さん(元佐久病院看護師)